



東濃西部少年センター

		多治見	瑞 浪	土 岐	センター	合 計	少年相談
2 月	指導件数	0	0	3	0	3	電話 23
	内女子件数	0	0	2	0	2	メール 3
	声かけ件数	420	13	337	50	820	合計 26
4月～2月 累 計	指導件数	20	34	30	0	84	電話 114
	内女子件数	3	0	10	0	13	メール 80
	声かけ件数	5,868	748	4,237	814	11,667	合計 194

2月の活動結果は上記のようになりました。お疲れさまでした。

指導内容は、無職少年の喫煙1名、高校生女子の座り込み2名 計3名でした。

寒い時期でもあり、家路を急ぐ子どもたちがほとんどで、この時期声かけ件数も減っています。

街頭指導から

指導活動と相談活動の件数を前年同期（4月～2月まで）と比較してみると

	21年度	20年度	増 減
指導数	84	98	-14
	13	18	-5
声かけ	11,667	13,538	-1,871
電話相談	114	82	32
メール相談	80	42	38

左の表のようになりました。

喫煙、自転車の2人乗り・無灯火、座り込み等の迷惑行為に対する指導件数は減少しています。これを、街頭指導の効果、黄色いジャンパー着用効果の定着と捉えて良いと思われます。

ただ、毎月の指導日誌からもわかるように、街に子どもの姿が少ない、子どもたちは何処で、何をしているのだろうといった疑問は払拭できません。ひょっとしたら家に引きこもり、出会い系サイトや携帯ゲーム、プロフと呼ばれるネット遊びに夢中になっているかもしれません。

こうしたことがきっかけで、事件や事故に巻き込まれるケースは、年々増えるばかりです。実態をつかみにくい子どもたちに、もっと関心を持ち、注意を払っていくことは差し迫った課題です。

また、巡回指導での問題は、活動の時間帯とコースです。子どもたちの「安心と安全」を願う以上、彼等が一斉に動く登下校時とか、塾通いする時間帯の駅周辺での活動が望ましいのではないのでしょうか。この点についての見直しと工夫が早急に望まれます。

相談件数は全体的に増加しています。ただ、電話相談では、リピーターからの相談が約39%あります。



土岐地区の班長会から

2月23日(火)午後5時31分より、土岐市文化プラザで行われました。どの班も、子どもたちの「安心・安全」を第1に考えた、街頭指導を行っておられる様子が伝わってきました。少し紹介させていただきます。

・駅方面を中心に巡回している。2回程、町内の公園巡りをした。これは、高校生がタバコを吸っている、外国人が水を汲んでいるという情報が入ったからです。

昨年は、駅前にたむろしているグループがあった。8~9人集まっていると声をかけられない。しかし、今年はたくさんたむろしていて声をかけられない状況はなかった。

・子どもたちの下校時に合わせて、季節に応じて時間を変えて巡回している。

夏休み中、橋の下に集まっているという情報をもらって、現場を見に行った。

・黄色いジャンパーを着ていたので、高校生が声をかけてくれた。

駅裏のたこ焼き屋は、必ず寄って声かけしている。

・コースを季節的に考慮して巡回している。子どもに出会うことが少ない。

・不審者情報によると、午後4時30分から5時の時間帯が多い。通学路を中心に、下校時に巡回した方がいいのか？！



東濃西部少年センターでは、農学博士でコラムニストでもあるジョン・ギヤスライトさんの講演会を、平成22年度少年指導員委嘱式当日の全体研修会で開催を予定しています。

日 時 平成22年5月8日(土)

午後2時から3時30分

場 所 瑞浪市総合文化センター

問い合わせ 東濃西部少年センター(☎23-3455)

- 一般の聴講希望者も入場できます。
- 入場は無料です。



10人家族、8人兄弟の長男。1985年、憧れの三英傑の尾張名古屋に來日。南山大学日本語別科にて日本語を学び、91年同大学三年に編入、2007年ツリークライミングを利用したセラピーを研究し名古屋大学大学院生命農学研究科修了。農学博士。在学中よりテレビ・ラジオに出演。93年日本人女性と結婚。2児の父親でもある。日本と北米の文化を比較しながら国際交流、教育、子育てなどの講演、テレビコメンテーターとして活躍中。現在は愛知県瀬戸市在住。

ジョン・ギヤスライト [アメリカ・オレゴン州生まれ]

何か気付かれたこと、ご不明なこと、ご意見等がありましたら

下記へ連絡ください。

東濃西部少年センター (0572) 23-3455

メールアドレス anshin55@crux.ocn.ne.jp